

一般会計

374億9,000万円

+

特別会計

(水道事業含む)
133億3,430万円

=

予算総額

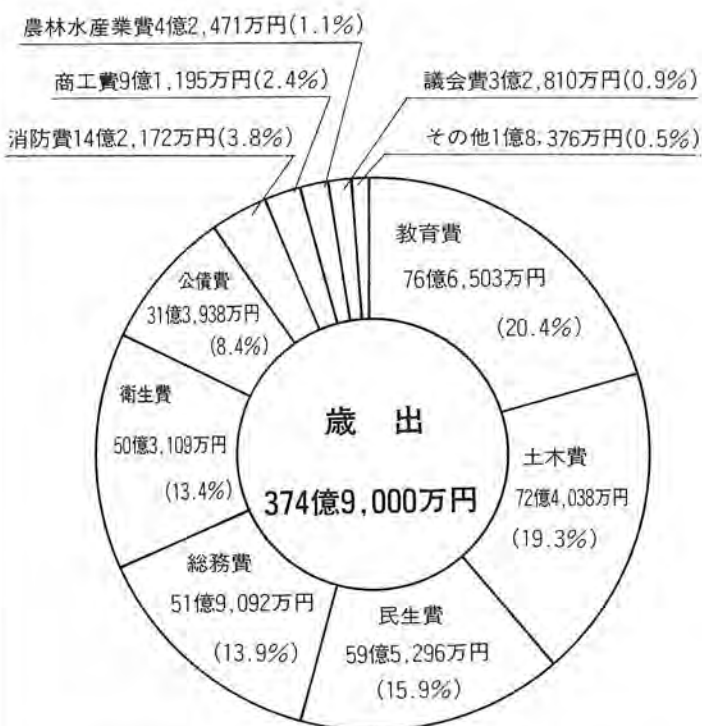
508億2,430万円

昭和56年度予算の7本の柱

1. 調和のとれた都市環境をつくるために——都市基盤
2. 快適な市民生活を営むために——生活環境
3. 市民の安全と健康を守るために——安全と健康
4. 市民福祉の向上のために——社会福祉
5. 市民の創造性をはぐくむために——教育・文化
6. 地域に結びついた産業を振興するために——地域産業
7. 心の触れ合う地域社会を築くために——コミュニティ

昭和56年度一般会計予算

区 分	56年度予算額	構成比	前年度比
市 税	18,488,842千円	49.3%	15.3%
地 方 譲 与 税	324,598	0.9	14.9
娯 楽 施 設 利 用 税 交 付 金	38,262	0.1	15.4
自 動 車 取 得 税 交 付 金	269,421	0.7	△ 3.4
国 有 地 区 提 供 施 設 等 所 在 金	42,546	0.1	814.8
市 町 村 助 成 交 付 金	2,500,000	6.7	4.2
地 方 交 付 税	30,000	0.1	0.0
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	389,043	1.0	14.8
分 担 金 及 び 負 担 金	480,885	1.3	5.9
使 用 料 及 び 手 数 料	4,025,914	10.7	△ 11.7
庫 支 出	801,936	2.2	△ 22.2
財 産 支 出	237,940	0.6	18.6
附 入 金	233,050	0.6	2.2
繰 上 金	2,040,000	5.5	107.1
繰 越 金	300,000	0.8	△ 70.0
諸 債 入 債	908,063	2.4	0.3
市 債	6,379,500	17.0	14.2
合 計	37,490,000	100.0	9.1



昭和56年度特別会計(水道事業を含む)予算

会 計 別	56年度予算額	前年度比
国民健康保険事業	5,600,000千円	37.6%
公益質屋事業	50,500	5.9
下水道事業	4,122,000	22.4
南柏駅東口土地区画整理事業	21,500	△ 12.6
北柏駅南口土地区画整理事業	201,600	△ 28.0
霊園事業	3,700	5.7
公設総合地方卸売市場事業	573,000	6.5
水道事業	2,762,000	11.4
合 計	13,334,300	23.4

新年度 都市基盤など7本の柱を中心に

生活環境整備に重点

昭和56年4月から同57年3月までの市政運営の基礎となる、昭和56年度の予算が3月定例会市議会で原案どおり可決されました。この予算は、昭和56年度を初年度とし、昭和65年を目標年次に、人間性豊かな生活文化都市を都市像に掲げた「柏市基本構想」(昭和49年に制定されたものを改めて策定したもので同定例会市議会で可決)の理念を実現するために、基本計画の7本の柱に沿って編成されています。その結果、一般会計予算は374億9000万円、水道事業を含んだ特別会計予算は133億3430万円、合わせて508億2430万円となりました。この特集号では、柏市の財政事情をはじめ、私たちが納める税金がどのように使われるのか、その主なものをみてみました。

柏市の財政運営は、健全財政を維持しているものの、その内容は、歳入においては国や銀行などからの借入金、一方、歳出においては人件費、扶助費などの義務的経費、物件費、補助費等を含めた経費が増え続け、財政健全化の傾向を示しており、その見直しは決して楽観視できない状況にあります。しかし、人口増加が進む柏市では、下水道や道路等の整備をはじめとした様々な市民要望が山積しており、これらを早急に解決しなければならぬ必要性に迫られています。

特に今年度は、柏市を取り巻く社会、経済情勢の変化に対応し、総合的、計画的な行政運営を図るため、昭和49年に制定された柏市

教育・土木・民生で55.6%

歳入は市税が49.3%を占める

計が133億3430万円(前年度比23.4%増)で、予算総額は508億2430万円(前年度比12.5%増)となっています。特に一般会計の伸び率9.1%

は、昭和40年度以来の一ケタの伸び率となっています。一般会計の内容をみると、まず歳入では、私たちが納める市民税や固定資産税、たばこ消費税、電気税、都市計画税などの市税が184億8884万円(歳入全体の49.3%)、長期借入金である市債が63億7950万円(同17.0%)、国や県からの補助金などが48億2785万円(同12.9%)、その他77億9381万円(同20.8%)となっています。

特定の事業を行う場合、あるいは、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して行う経理が特別会計です。昭和56年度予算では、国民健康保険事業に1億円、下水道事業に11億7000万円、北柏駅南口土地区画整理事業に1億8000万円、公設総合地方卸売市場事業に2億4000万円など、合わせて16億5500万円の歳出が見込まれています。

特別会計への繰出しは16億5500万円

増加しています。

7本の柱に沿った、予算の主な使いみちは、253ページに掲載してあります。

昭和56年度の一般会計予算は、新たに策定された基本構想の理念を実現するために、基本計画の7本の柱①調和のとれた都市環境をつくるために②快適な市民生活を営むために③市民の安全と健康を守るために④市民福祉の向上のために⑤市民の創造性をはぐくむために⑥地域に結びついた産業を振興するために⑦心の触れ合う地域社会を築くために、などに沿って編成されています。この2〜3ページでは、それぞれの柱に沿った大まかな予算の使いみちをみてみました。

調和のとれた都市環境をつくるために
都市基盤

手賀沼公園を計画
柏駅南北自由通路の建設調査も

柏駅前整備として、柏駅西口に自転車駐車場の建設が、増尾駅東口、逆井駅周辺には同駐車場の設置が行われます。

柏駅西口に自転車駐車場の建設
○増尾駅東口、逆井駅に自転車駐車場の設置等 987万円
○国道16号線周辺の大堀川流域土地利用の一環として、駐車場の取得 2億円
○柏駅小塚台線、南柏逆井線等の街路整備、市民の憩いの場としての公園整備 根戸・中馬場地区、逆井・藤心地区の土地区画整理事業の事業推進を図るための測量費等からなっています。 12億990万円

柏駅の自由通路
○柏駅の南北自由通路建設に伴う調査と設計 4000万円
○南部公園 あけぼの山公園、増尾城址公園などの整備と改良 1億3900万円
○手賀沼公園、南部公園など 370万円

の用地取得 4億9992万円
○公園の維持管理等委託 5348万円
○緑化推進費補助金 1049万円
区画整理事業
○根戸・中馬場地区、逆井・藤心地区の土地区画整理事業測量等委託 2900万円
○上富士川改修工事への負担金
○流山市が実施している上富士川改修工事に対する負担金など 2023万円
○霊園事業特別会計への繰出し 370万円

交通安全施設の整備、舗装等 2億2532万円
○幹線排水路の整備 4億8000万円
○地域排水路の整備 4億7000万円
○路面の排水整備 1億2000万円
柏駅東口に公衆便所 1800万円
○柏駅東口に公衆便所を建設し尿処理場と清掃工場等 13億8000万円
○新清掃工場の用地取得とアセスメント調査等 12億6046万円
○ごみ処理場施設整備 4971万円
○清掃車両の購入 2700万円
○土木車両の購入 510万円
市営住宅の建設
○第一種住宅18戸の建設と用地取得 2億91万円

災害対策として総合防災訓練、地域防災訓練、いっせい避難訓練、第三次の震災対策基礎調査、自主防災等の推進が図られます。

○震災対策基礎調査の委託と災害用精密ろ水機の購入 590万円
○耐震性戸付貯水そうの設置ほか 3230万円
○消防施設整備 6900万円
○公害測定機器の購入 415万円
交通安全
○道路反射鏡、標識の設置、区画線、防護さく、道路照明、ストップマーク等の設置 2000万円
○防犯灯の設置、維持費等補助金 4110万円
健康
○急病センター予防補助金 4000万円
○保健センター改造工事 300万円
○被爆者健康管理見舞金等 350万円
○予防接種や検診等の委託 4264万円
繰出金、補助金等
○国民健康保険事業特別会計への繰出し 1億円
○急病センターの診療、消防施設、交通安全施設、水道事業会計等への補助金や負担金 2億5633万円



市民の誰もが望む生活環境施設の整備。その一つ、公共下水道の整備に市では積極的に取り組んでいます

快適な市民生活を
営むために
生活環境

周辺地域を優先に、市民生活に密着する地域間の連絡道路、生活道路、生活排水施設、それに、清掃施設等の整備として、第二し尿処理場の増設・改良（継続事業）、新清掃工場建設のための用地取得（南北2カ所）とアセスメント調査および基本設計、市営住宅の建設と同用地の取得等が行われます。

○道路の新設・拡幅 4億2800万円
○道路の改良 3億1168万円
○ごみ処理場施設整備 4971万円
○清掃車両の購入 2700万円
○土木車両の購入 510万円
市営住宅の建設
○第一種住宅18戸の建設と用地取得 2億91万円

周辺整備が最重点
公共下水道の整備を推進

○交通安全施設の整備、舗装等 2億2532万円
○幹線排水路の整備 4億8000万円
○地域排水路の整備 4億7000万円
○路面の排水整備 1億2000万円
柏駅東口に公衆便所 1800万円
○柏駅東口に公衆便所を建設し尿処理場と清掃工場等 13億8000万円
○新清掃工場の用地取得とアセスメント調査等 12億6046万円
○ごみ処理場施設整備 4971万円
○清掃車両の購入 2700万円
○土木車両の購入 510万円
市営住宅の建設
○第一種住宅18戸の建設と用地取得 2億91万円

急病センターの事業拡充

交通安全対策にも諸施策

市民の安全と健康
を守るために
安全と健康

○急病センターの診療、消防施設、交通安全施設、水道事業会計等への補助金や負担金 2億5633万円



市民の憩いの場としての公園。自然と緑の確保のために積極的な施策が計画されています

市民福祉の向上のために 社会福祉

視覚障害者等に福祉コンロ

心身障害者への在宅サービス充実

老人福祉対策として老人福祉推進事業や、高齢者事業団に対する運営補助金が、また、児童に対しては、言語指導事業の内容充実、就園奨励費補助金の増額等が行われます。

- 高齢者事業団の運営に対する補助金等 2900万円
柏寿荘の施設整備 280万円
就園奨励費補助 2億5695万円
言語指導の充実 81万円
福祉タクシー利用者への助成 288万円
心身障害者(児) 福祉手当、特定疾病療養費見舞金、重度心身障害者(児)医療費、精神薄弱者施設収容措置費、児童手当など 21億2104万円
精神薄弱者更生施設(東葛) 補助金、負担金
標準学力テストの実施、副読本改訂版発行 1657万円
せき柱側わん症検診および特殊機の購入 245万円
弓道場、利根運動広場、サイクリングコース、サッカー場等の建設 5037万円



お年寄りや身体障害者のための福祉施設と、生涯教育の場としての中央公民館の機能を合わせ持った「柏市教育福祉会館」の開館も間近となりました

近隣センター2館建設

ふるさとセンター建設にも補助金

地域住民の触れ合いの場としての近隣センター2館の建設と用地取得、地区ふるさとセンター整備に対する補助金、それに、コミュニティ活動育成のために、ふるさとづくり活動補助金やコミュニティ事業補助金などが組まれています
近隣センターの建設
元光ヶ丘保育園跡と、新富町の稲荷神社境内の2カ所に近隣センターを建設。また、新たに近隣センター用地を2カ所に取得
8億3152万円
ふるさとセンター
各地域で行う地区ふるさとセンターに対する整備事業への補助(建物、用地) 1100万円
活動に対する補助金等
ふるさとづくり活動補助金 742万円
各種コミュニティ事業補助金 1957万円
柏まつりに対する補助金 900万円
ふるさと運動PR用看板設置 345万円
市勢要覧・便帳の複合版の発行と広報活動用備品の購入 1150万円

運動広場とサッカー場

各地域では積極的な社教活動も

市民の創造性を 是くむために 教育・文化

児童・生徒の教育環境の改善を図るために、小・中学校関係では、校舎の新築をはじめ、屋内運動場、プールの建設、学校用地の取得などが行われます。また、教育内容の充実を図るために、総合教育策定基礎調査、副読本改訂版の発行を、生徒の健康を守るために、せき柱側わん症検診および特殊機の購入が行われます。
体育活動の推進としては、利根川河川敷に運動広場やサッカー場を建設、また、体育館裏に弓道場を、手賀沼周辺にはサイ

- 田中小分離校の新築、五小の改造、旭東小、酒井根東小、松葉一小の屋内運動場の新築、酒井根東小、松葉二小のプール建設、西原小の分離校、四小の拡張、松葉一小、同二小の用地取得等 20億8926万円
富勢中、田中中の増築、逆井中、松葉中の屋内運動場の新築、逆井中のプール建設、南郷中、松葉中の用地取得等 9億9848万円
県立高校
県立高校用地費負担金 1億4503万円
教育内容の充実
総合教育策定基礎調査 340万円

農業後継者を育成

大型店対策では商業構造基本調査

地域に結びついた 産業を振興するために 地域産業

農業者、および農業後継者の研究等の施設として、農業研修センターの建設、農業用水路の整備、布施下基幹排水対策特別事業への負担等が行われます。
農業者の育成等
農業研修センターの建設 1億9870万円
農道、用水路の整備 2900万円
布施下基幹排水対策特別事業に対する負担金 1000万円

中小企業融資のための預託金 5億円
中小企業融資資金の利子補給補助金、柏市商工団体共同施設の設置等補助金、柏商工会議所補助金、土壌病害虫防除薬剤事業等の補助金 1億2180万円
公設総合地方卸売市場事業

心の触れ合う地域 社会を築くために

コミュニティ



市民と市民との深いつながりと活動からふるさとと誇れる住みよいまちがつけられます

特別会計への繰出し 2億4000万円

